

西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ①⑥ ～集落営農組織紹介～

地域農業の更なる発展を目指し集落営農法人を設立!



麦播種と防除の2班体制で作業を実施

細川和稔 代表

観音寺市古川町 (農)一ノ谷生産組合

(農)一ノ谷生産組合は、地域の農地保全と継続的な経営発展を目的に、JA支援の集落営農組織を母体として平成30年11月15日に設立された集落営農法人です。

観音寺市の一ノ谷地区を主な活動エリアとしてはだか麦の栽培に取り組むほか、令和元年度からは全組合員が観音寺地域農作業受託者部会の部会員になり、地区内の受託作業も行っています。

組合員は認定農業者2名を含む4名ですが、法人を設立する際に新たな組合員を勧誘したことにより課題であった人手不足が解消しました。その結果、はだか麦の作付拡大や、適正な栽培管理による単収向上が図られ、「平成30年播き香川県麦作拡大コンクール」では「生産集団の部」で特別賞を受賞することができました。

また、これまで中心的に活動してきた認定農業者は、露地野菜を中心とする個別経営体として経営発展を目指しながら法人の活動をサポートできるようになりました。

細川和稔代表理事は「法人の運営は素人でありわからないことも多いが、関係機関に相談しながら活動している。新たな組合員の加入も促しながら、なるべく簡略な仕組みで運営を行い、地域農業の発展に貢献していきたい。」と抱負を語ってくださいました。

適正な投資で農業経営の発展を！

～投資は資金繰りを慎重に考えた上で行うことが重要です～

農業経営の発展には適正な投資が求められます。投資には新たに施設園芸部門を開始するための栽培温室の設置や、規模拡大に向けた大型機械の整備、また雇用の導入のためなどの投資があります。投資の際には『資金繰り表』を作成することが重要です。

以下の事例をもとに、投資と資金繰りについて考えてみます。

- 最初に、投資の内容と投資金額、借入金を活用する場合は借入金額と返済期間等を整理します。

投資の内容：いちごの高床栽培に必要な栽培温室の設置 [10a、耐用年数10年]
投資金額：15,000千円
資金調達：自己資金3,000千円 借入金額12,000千円
返済期間：10年 [毎月100千円を返済、ここでは利息は考えません]

- 次に、投資した施設から見込める売上高と費用を算出し、年間単位で予定所得を整理します。

生産量：5,000kg [10a]
売上高：6,000千円 [販売単価：1,200円/kg]
費用：2,500千円 [肥料費や資材費等積み上げて算出します]
減価償却費：1,500千円 [耐用年数：10年]
所得：2,000千円

※新たな部門に取り組む場合は、生産実績がないことから、生産量、売上高、費用の算出は、地域の生産者の助言等を参考に、慎重に行うことが重要です。

- 年間の予定所得が整理できたら、月ごとのお金の出入りを確認するための『資金繰り表』を作成し、お金の入出金を確認します。(ここでは売掛や買掛は考えません) (千円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
前月繰越金 (A)	500	800	900	1,100	1,300	1,600	1,600	1,300	1,000	500	0	-100	-
売上入金 (B)	1,000	800	800	800	800	400					400	1,000	6,000
費用支出 (C)	400	400	300	200	200	100			200	200	200	300	2,500
返済金額 (D)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200
生活必要額 (E)	200	200	200	300	200	200	200	200	200	200	200	200	2,500
翌月繰越金 (F) (F)=(A)+(B)-(C)-(D)-(E)	800	900	1,100	1,300	1,600	1,600	1,300	1,000	500	0	-100	300	-
(参考)減価償却費	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	1,500

※ 減価償却費は支出を伴わないので資金繰りから除きます。

年間の月ごとの『資金繰り表』を作成した結果、11月に資金が不足します。繰越金も年初の500千円から300千円に減少しています。こういった場合、短期借入金の活用、生活必要額や計画等の見直しが必要になります。(実際には投資に係る入出金が発生した月から、『資金繰り表』を作成します。)



投資は農業経営発展の手段ですが、綿密な投資計画が必要になります。
 投資の際には、**経営全体**の『資金繰り表』を作成しリスク回避に努めましょう！

花きの消費拡大に向けたPR活動を展開

普及センターでは、三豊花卉部会、豊南地区花卉部会、鉢花生産者などの花き生産部会やJA香川県などの関係機関と協力して、新しい物日※の開拓など消費拡大に向けたPR活動を行っています。

関西市場でのPR活動



令和元年6月、関西大手市場での展示会への出展

関西大手市場において、三豊花卉部会のヒマワリ、アスターを中心に、花き販売店や消費者に対しPR活動を行いました。

香川県のヒマワリは栽培面積が全国3位、西日本では1位です。その中でも三豊花卉部会が8割以上を占めています。

新しい物日の開拓



平成30年11月、JR高松駅において「いい夫婦の日」キャンペーンを実施

新しい物日を開拓するため、鉢花生産者の皆様とともに、いい夫婦の日（11月22日）、フラワーバレンタインなど、花贈りキャンペーンを行いました。

第三回全国高校生花いけバトル



写真提供：全国高校生花いけバトル実行委員会
令和元年8月、第三回大会優勝の作品

管内輪ギク生産者は、新たな輪ギクの用途開拓のために、香川県・全国高校生花いけバトル実行委員会主催の全国高校生花いけバトルの花材として満開の輪ギクを提供しました。

香川県産花き取扱協力店

香川県では県産花きの利用拡大や購入機会を広げることを目的に、県産花きを積極的に取扱う生花店を募集し、「香川県産花き取扱協力店」として登録しています。



香川県産花きをお求めの方は、こちらをご覧ください。

※「物日」とは、祝い事や祭りなど特別なことが行われる年中行事として定められた日のこと。

西讃農業者クラブに加入しませんか！

西讃農業者クラブは、観音寺市、三豊市の若手農業者同士（会員数18名、平均年齢38歳）が交流を図り、農業経営の資質向上のための研修等を行う青年農業者の組織です。

クラブでは、①知識・技術向上のための研修活動、②交流会などの親睦活動、③地域農業の発展に向けたPR活動を行っています。

県内各地区にも同様のクラブがあり、香川県全域を統括する組織としてIFKがあります。西讃地区のみならず、香川県全域の青年農業者と交流を深めてみませんか。加入希望者は、普及センターまでご連絡ください。



ブロッコリーほ場の排水対策調査

西讃地区の農業女子を応援しています！



商品画像の撮影をプロに学ぶ会

今年度、公益財団法人かがわ産業支援財団と連携し、6次産業化セミナーの一環として、管内アグリレディのため、販売力強化をテーマにした3回連続のセミナーを9月に開催しました。これは、3回のセミナーを受講することによって、商談会に通用する商品カルテを作成しようとするものです。

商品カルテの商品画像の撮影をプロカメラマンに学ぶ会では、スマートフォンを使って行ったこともあり、非常に好評でした。

今後は、管内アグリレディの交流会も予定しています。ご参加を希望される方は、普及センターまでご連絡ください。

受賞おめでとうございます

●第83回香川県畜産共進会

第3部 肉豚の部 農林水産省生産局長賞

第4部 肉牛の部

1区（黒毛和種）農林水産大臣賞・県知事賞

2区（交雑種） 県知事賞

細川 のぶ子 様（三豊市財田町）

安藤 登 様（観音寺市粟井町）

船橋 隆貞 様（観音寺市大野原町）

●第15回讃岐牛・オリーブ牛振興会枝肉共励会

最優秀賞（県知事賞・オリーブ牛振興会会長賞）

安藤 勝賛 様（三豊市山本町）